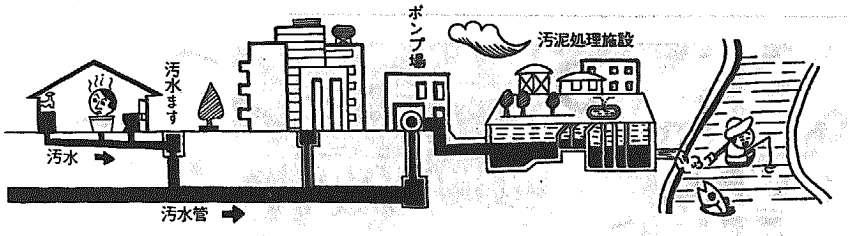
豊かな住みよい環境をめざして　下水道

生活と自然を守る下水道

文化的な生活を目ざして、わたしたちの暮らしは豊かになってきましたが、反面物質文明という中で、いつのまにか川を汚濁させ、魚を追い出し、悪臭を発生させるところまで自然を変えてしまいました。その大きな原因は、家庭で使った生活汚水や、工場で出す産業排水を、そのまま川や湖沼、海にすてたためで、このような状態が続く限り、川や湖、海の汚れもひどくなっていきます。こうした汚水を集めて処理し、きれいな水にして自然のサイクルの中に返すのが下水道の役割です。



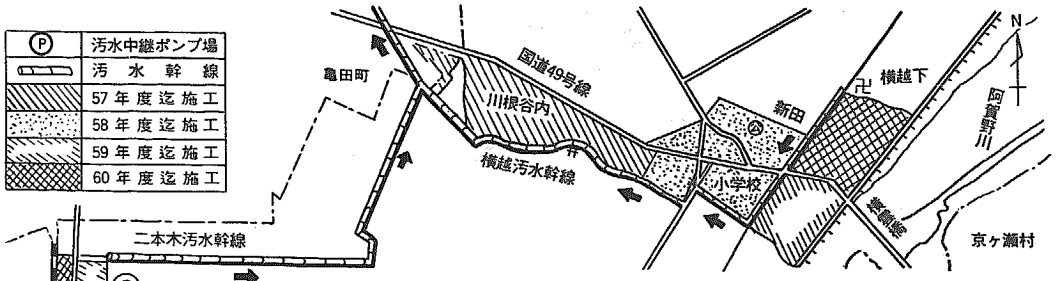
日本の下水道普及率は26%（昭和52年度末現在）と欧米諸国と比べるとまだまだ大きく立遅れています。そこで国は下水道を早急に整備するため、昭和51年度から第4次下水道整備五カ年計画をスタートさせ、その普及率を高める計画を進めています。こうした中で一日も早く私達の住む町や、村をもとの自然の姿に戻し住みよい環境にしなければなりません。

村の下水道計画

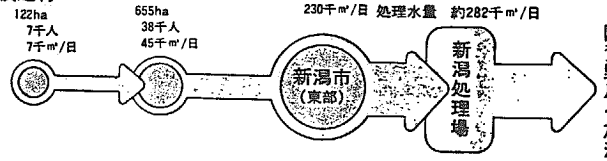
村の下水道計画は、流域下水道（信濃川下流流域下水道）と村の公共下水道の二つの下水道計画からなり立っています。そして昭和49年度から流域下水道として、計画を初め昭和54年度からは公共下水道として計画を進めてきました。

そこで今年度（昭和55年度）から本格的な幹線管きょの工事が実施されるはこびとなり、昭和57年度迄には川根谷内地域が施工され、60年度迄には村の市街化区域の全地区を完成する計画となっています。この下水道計画にともなう工事費は総額22億円、その財源は国からの補助金や起債村の一般財源。そして受益者負担からなります。

横越村公共下水道汚水計画



信濃川下流流域下水道新潟処理計画



概要

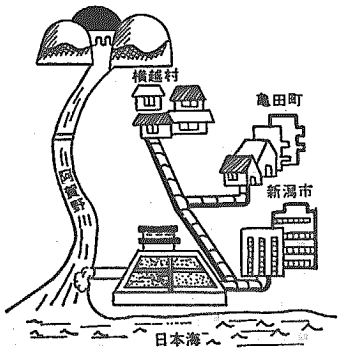
新潟処理区は、信濃川最下流右岸側区域の阿賀野川及び小阿賀野川に囲まれた区域であり、関連する市町村は、新潟市と周辺の亀田町及び横越村の一市、一町、一村を処理区域として、昭和49年度より事業に着手しました。第一期計画（76系列）の目標としては、昭和55年より処理開始することとしています。

流域下水道とは

流域下水道というのは、河川や湖沼の流域内の市町村から発生する下水を行政区域にとらわれず、効率的に集めて処理した後、河川等に放流する下水道で、その骨格となる幹線管きょとこれに関連するポンプ場及び終末処理場からなっています。つまり流域内の各市町村下水はそれぞれの公共下水道によって集められ流域下水道の幹線管きょに接続されて末端の終末処理場に導かれ、ここでまとめて浄化されるところから、この流域下水道は、流域を単位とする広域的な下水道のことです。

公共下水道とは

市町村が主体となって管理するもので、主として市街地の下水を排除し、下水処理場で処理し、川や海に放流するものです。しかし、横越村の公共下水道は流域下水道と一体となり、流域下水道の処理場に排除され川に放流されます。



水洗トイレの改造について

公共下水道が完成し、処理場が運転されると水洗トイレが使えるようになります。

市町村が使用可能な地域を公示しますと、その地域内では、法律によって三年以内にトイレを水洗式に改造しなければならないことになっています。このため、かなりの改造工事費が必要となりますので、今から積立金等をするなどしてその計画を立てておく必要があります。又この資金の融資が出来ない人には便宜をはかり、国から市町村に低利の貸付制度を設けることになっています。

§国民年金だより§ 四月から保険料が改定されます

四月から、国民年金の定額保険料が一カ月三千七百七十円に、付加保険料が一カ月四千百七十円に改定されます。

老後の生活の支えとなる国民年金は、その値打ちが下がらないように、物価の変動に応じて年金額のスライドを行うなど、毎年のように給付の改善が行われています。昨年も三・四%の給付アップが実施されましたが、これらのお金は、みなさまが納付される保険料の積立金と、国庫金などによってまかなわれています。

国民年金制度が、長期間にわたって健全に維持されるためには、年金額のアップなどにともなって、払い込む保険料も改定していかなければなりません。

こうしたことから、保険料の額が四月改定されることになったのです。国民年金制度をより充実したものにするためにぜひご協力ください。

三月定例議会

昭和五十五年度予算等を審議する三月定例議会が、三月十一日から二十七日まで、十七日間の会期で開催されます。

昭和五十五年度予算案は、渋谷村政が初めて編成したもので、一般会計では、総額十四億六、八五〇万円（前年比十三・二%）一億七、〇七〇万円増）となっております。

主な事業としては、双葉保育園改築、中学給食改築、不燃ゴミ緩立地買収、村道改良、農村モデル、都市街路等の各事業で、その目玉としては双葉保育園の改築があり、保育対策は大きく前進されます。

このほか、高額療養費貸付精神障害者医療費助成制度の条例案等があり、福祉施策にも重点をおいています。